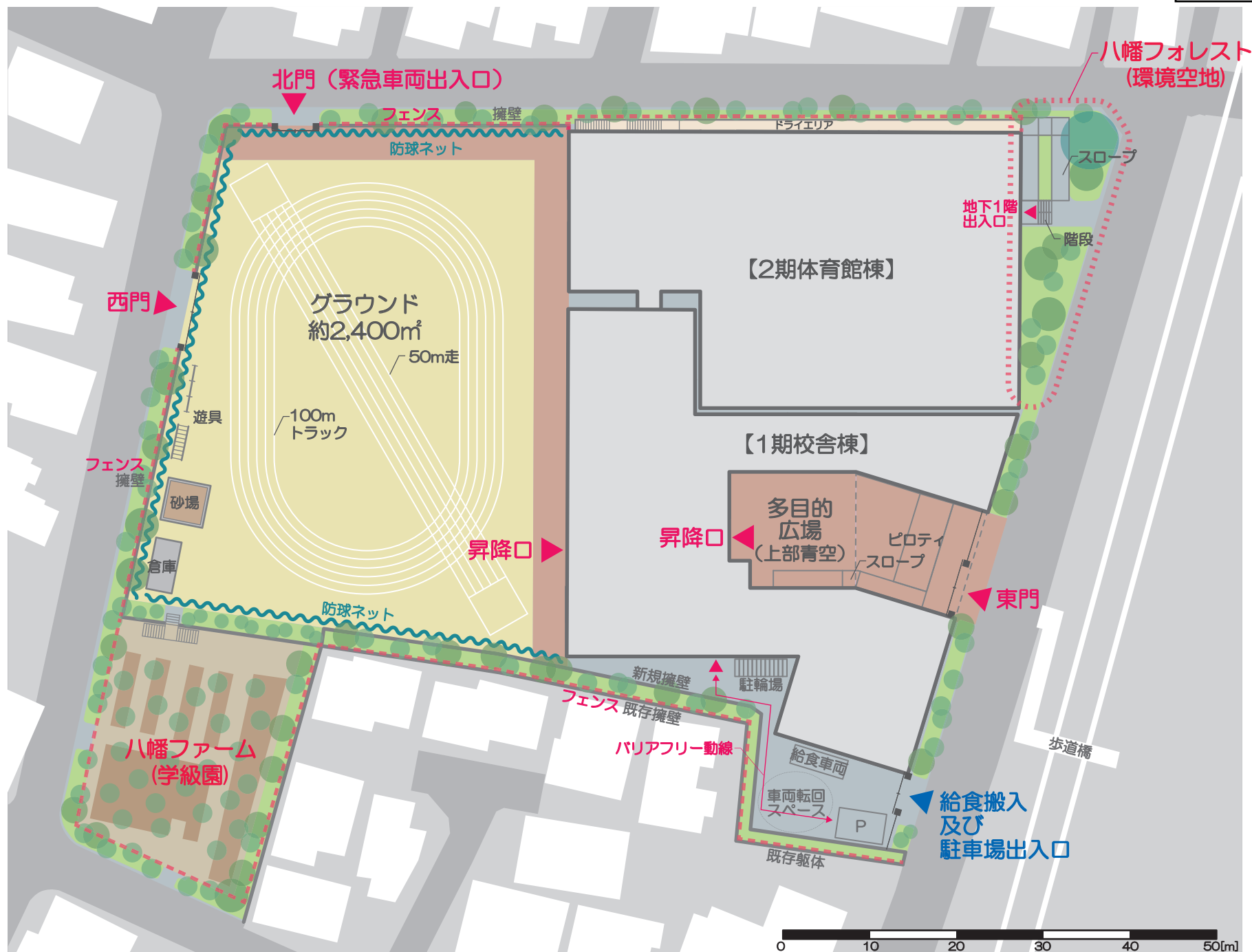
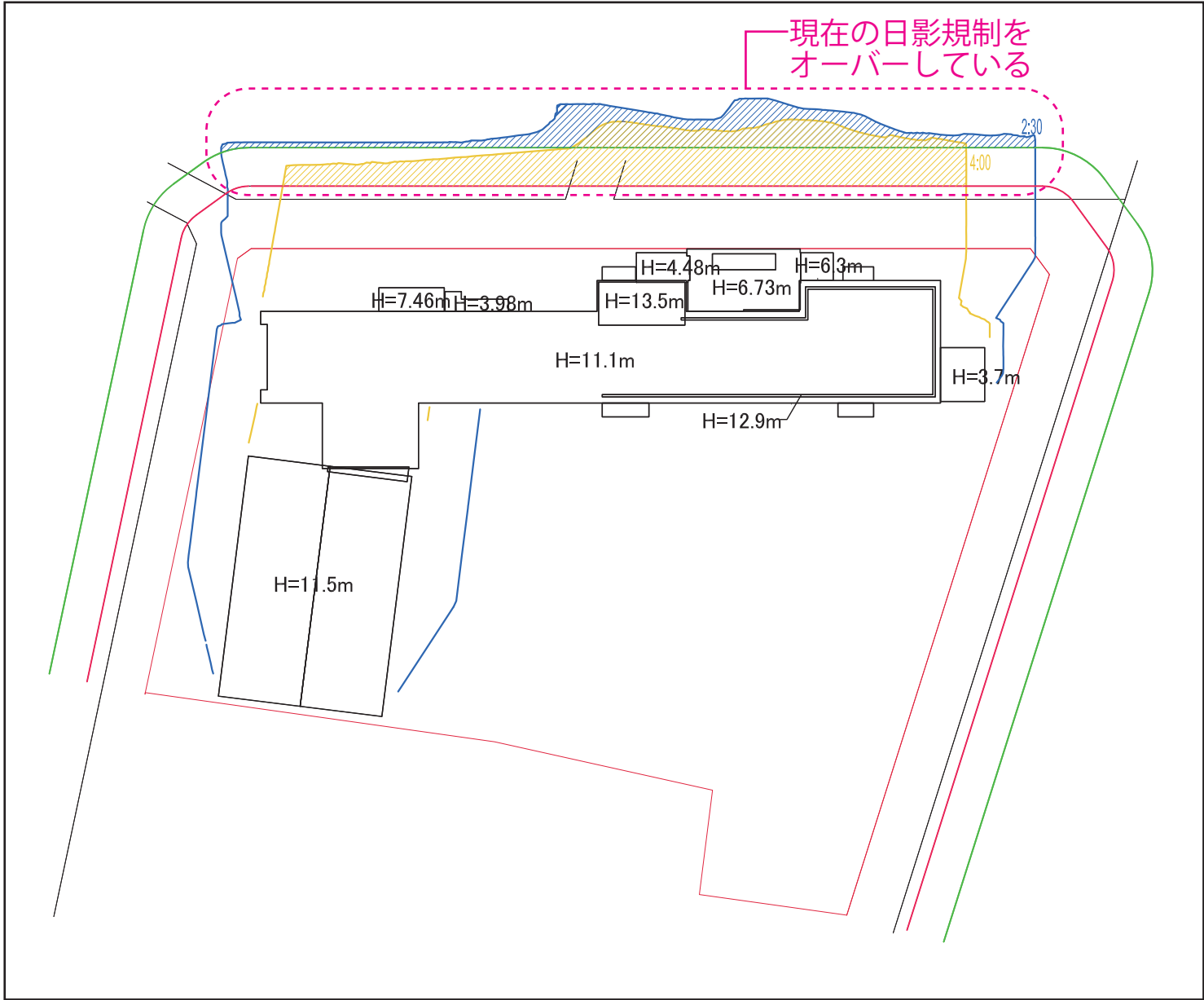
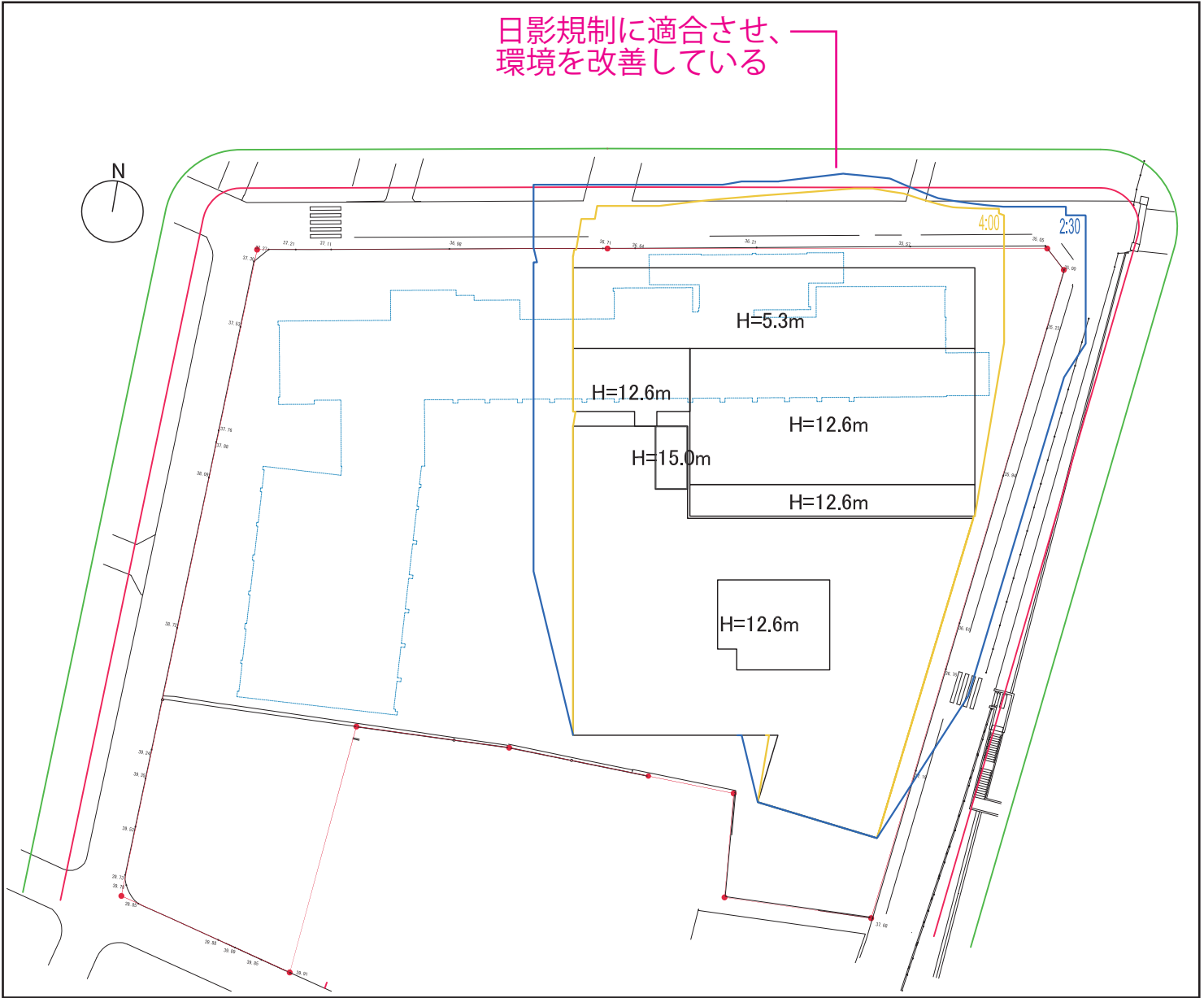






〈既存校舎の等時間日影図〉



〈配置計画 (案) の等時間日影図〉

〈凡例〉

- 10m規制ライン
- 5m規制ライン
- 4時間日影ライン
- 2.5時間日影ライン

H=**m …建物高さ
※ 建物高さは平均地盤面からの高さ

10mの規制ラインを超える範囲で
規制時間以上の影が落ちる箇所

5～10mの規制ラインを超える範囲で
規制時間以上の影が落ちる箇所

【基本設計で考慮すべき基本事項】

（１）配置計画

- ① 配置計画は学校農園（八幡ファーム）と改築後の校庭を一体的な空間に整備するとともに、東側の鉄道沿線における騒音や振動について配慮した計画とする。（Ⅱ、Ⅴ）
- ② 小学校グラウンドは、現状と同等以上の広さを確保するとともに、サッカーなどの球技などが行いやすいよう整形な校庭部分をより広く確保できるよう検討する。（Ⅳ）
- ③ ゆりの木の継承の方法を検討する。（Ⅱ）
- ④ 桜などの樹木は移植・新植などの手法により保全・創出に努めるとともに、景観に配慮した計画とする。（Ⅱ、Ⅴ）
- ⑤ 登下校門はどの方角から来る児童も通いやすい位置に設け、児童の安全に配慮したスペースを設ける。車両動線（緊急車両）については校庭や保健室前にアクセスできる計画とする。（Ⅲ）
- ⑥ 遊具を安全に配慮して適切に配置するとともに、遊びの空間の確保を検討する。（Ⅳ）
- ⑦ 必要な緑地面積を確保しつつ、緑のカーテンや屋上及びビオトープなど、校庭以外の屋外空間における学習環境の充実を図り、子ども達の学習・憩いの場を創出する。（Ⅰ、Ⅳ、Ⅴ）

（２）平面計画

① 児童ゾーン

- ・普通教室は、日当たりのよい位置にまとめて配置し、良好な室内環境を確保する。（Ⅳ）
- ・将来の児童数増加に柔軟な対応が可能な平面計画とする。（Ⅰ）
- ・学年を越えた子どものかかわりやつながりがもてる施設とする。（Ⅰ）
- ・児童が落ち着ける空間や居場所の整備を検討する。（Ⅰ）
- ・伝統・歴史を継承していくため、八幡小学校の歴史を学べるスペースを確保する。（Ⅰ）
- ・帰国・外国人児童・生徒指導支援校としての位置付けを考慮し、国際交流ができる設備の導入を検討する。（Ⅰ）

② 管理ゾーン

- ・職員室や保健室等は、昇降口やグラウンドを見渡すことができる位置にまとめて配置する。（Ⅲ）

③ 運動施設

- ・体育館は、避難所運営も考慮した配置計画とするとともに、断熱・遮熱性向上を図る工夫を行う。（Ⅲ）
- ・プールは、近年の猛暑を考慮して、暑熱対策などを検討する。また、近傍にある民間屋内温水プールの活用に向けた検討を行う。（Ⅳ）
- ・校庭は、舗装素材、暑熱対策などを検討する。（Ⅳ）

④ 地域施設

- ・図書室、家庭科室、音楽室、理科室などは地域開放を考慮した配置を検討する。(Ⅱ)

(3) その他

① 室内環境

- ・地下階も含め、校舎内の通風・採光を確保し、良好な室内環境を整備する。(Ⅳ)
- ・木の香りがする内装木質化の推進を検討する。(Ⅳ)

② 防犯・災害対策

- ・避難所運営のための給水確保や太陽光発電など非常時対応を考慮した設備計画とする。(工事
中の避難所運営については今後担当課と調整を図る。)(Ⅲ)
- ・雨水流出抑制施設や雨水貯留施設を整備し、豪雨対策を実施する。(Ⅲ)
- ・校舎から視界に入らない箇所の安全対策を検討する(監視カメラ等)。(Ⅲ)

③ 維持管理

- ・給食室の納品口から配膳まで、給食配膳動線を適切に確保する。(Ⅲ)
- ・誰もが使いやすい施設とするために、ユニバーサルデザイン・バリアフリー対策を徹底する。
(Ⅲ)
- ・屋根に太陽光発電パネルを配置するなど、再生可能エネルギーの利用を促進する。(Ⅴ)

④ 工事中

- ・工事中の児童等の安全を最優先とした工事計画とする。(Ⅲ)

※各項目の(Ⅰ～Ⅴ)は、左側「基本方針(案)」の各項目と対応している。

【基本方針】

基本方針

歴史と未来をつなぐ人間性豊かな子どもを育成する学校**【教育・子育て（Ⅰ）】**

- ・ 明治12年の開校以来、たくさんの卒業生に見守られながら築いてきた、本校の伝統と文化を大切にし、新たな歴史を築いていくことのできる施設づくりを行います。
- ・ 多様な人々を受け止め合い、自分も他者も大切にする思いやりの心をもつ人間性豊かな子どもを育てる空間づくりを行います。
- ・ 子ども一人一人の主体的、能動的な学びを促し、問題解決能力を養うため、多様な授業形態や学習形態に対応可能な計画とします。

学校・家庭・地域がつながり協働し、地域で子どもを育成する学校【地域・景観（Ⅱ）】

- ・ 学校、家庭、地域の連携をより一層深め、相互の信頼のもと地域で子どもを育てる施設とします。
- ・ 学年を越えた子どものかかわりやつながりがもてる施設とします。
- ・ 周辺環境と調和した建物とするなど、周辺の住環境に配慮した計画とします。

子どもと地域を守る安心安全な学校**【安全・防災（Ⅲ）】**

- ・ 災害時にも子ども・地域住民等が安心して利用できる計画とします。
- ・ 安全な教育環境の整備に努めるとともに、ユニバーサルデザインの考え方に基づいた誰もが使いやすい施設とします。

健康、体力の向上に寄与する学校**【生活・健康（Ⅳ）】**

- ・ 可能な限り校庭を広く整形に確保するなど、活発な活動ができる空間を整備します。
- ・ 自然採光や自然通風等を取り入れるとともに、積極的に木材の活用をはかり、心身ともに快適に過ごせる施設とします。

自然とのふれあいを大切にする環境にやさしい学校**【自然・環境（Ⅴ）】**

- ・ 学校農園（八幡ファーム）保全や緑地の整備を行い、子どもたちが自然とふれあい、自然を身近に感じられる施設とします。
- ・ 省エネ技術の導入や自然エネルギーを活用し環境への負荷低減をはかるとともに、その効果の「見える化」により環境学習の場となる計画とします。

5. 基本設計で考慮すべき基本事項（「3. 計画の特色」に含まれない項目の抜粋）

（1）配置計画

- ・ゆりの木の継承の方法を検討する。
- ・桜などの樹木は移植・新植などの手法により保全・創出に努めるとともに、景観に配慮した計画とする。
- ・遊具を安全に配慮して適切に配置するとともに、遊びの空間の確保を検討する。
- ・必要な緑地面積を確保しつつ、緑のカーテンや屋上及びビオトープなど、校庭以外の屋外空間における学習環境の充実を図り、子ども達の学習・憩いの場を創出する。

（2）平面計画

◇児童ゾーン

- ・児童が落ち着ける空間や居場所の整備を検討する。
- ・伝統・歴史を継承していくため、八幡小学校の歴史を学べるスペースを確保する。
- ・帰国・外国人児童・生徒指導支援校としての位置付けを考慮し、国際交流ができる設備の導入を検討する。

◇運動施設

- ・校庭は、舗装素材、暑熱対策などを検討する。

（3）その他

◇室内環境

- ・木の香りがする内装木質化の推進を検討する。

◇防犯・災害対策

- ・避難所運営のための給水確保や太陽光発電など非常時対応を考慮した設備計画とする。（工事中の避難所運営については今後担当課と調整を図る。）
- ・雨水流出抑制施設や雨水貯留施設を整備し、豪雨対策を実施する。
- ・外周部の安全対策を検討する（防犯カメラ等）

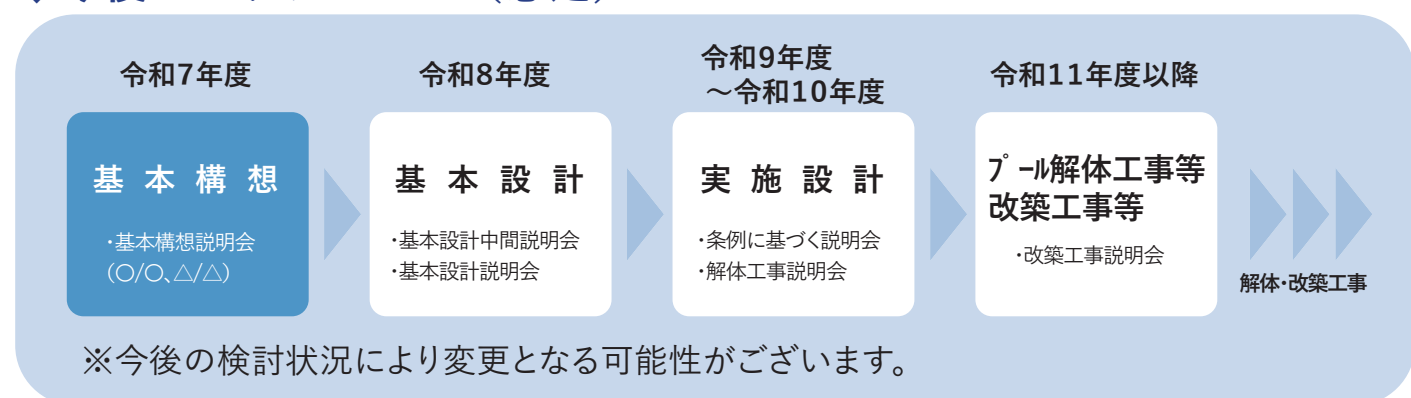
◇維持管理

- ・太陽光発電パネルを配置するなど、再生可能エネルギーの利用を促進する。

◇工事中

- ・工事中の児童等の安全を最優先とした工事計画とする。

◆今後のスケジュール（想定）



八幡小学校 改築だより

令和8年1月 第4号

発行 世田谷区教育委員会事務局 教育環境課

資料8

◆八幡小学校改築基本構想説明会を開催します

日ごろより、世田谷区の教育行政及び八幡小学校の運営にご理解とご協力を頂き、厚くお礼申し上げます。

さて、これまでお配りしてきた改築だより（第1～3号）にてお知らせしたとおり、教育委員会では、八幡小学校を次期改築校として選定し、改築に向けた検討を進めてまいりました。令和7年度に「八幡小学校改築基本構想検討委員会」を設置し、学校長をはじめ学校関係者や地域代表の方のご参加のもと、改築基本構想案づくりに取り組んでまいりました。この度、上記検討委員会による構想案の検討を踏まえまして、令和7年12月に区として「八幡小学校改築基本構想」を策定いたしました。

つきましては、改築基本構想の内容や校舎の配置・ゾーニング案、児童ワークショップの開催の概要、今後の改築スケジュール等について、下記のとおり説明会を開催いたします。

ご多忙中とは存じますが、ご出席の程、お願い申し上げます。

また、ご不明な点がございましたら、下記お問い合わせ先までご連絡ください。

日時：①令和8年3月〇日（〇）午後〇時～午後〇時

②令和8年3月△日（△）午後△時～午後△時

会場：八幡小学校 体育館

（両日とも説明内容は同じです。ご都合の良い日程にご出席ください。）

<当日のお願い>

- ・ご出席される場合の予約は不要です。当日は履物入れ及び上履きをご持参ください。
- ・当日のご参加が難しい場合のご質問は、随時電話等で受付いたします。
- ・当日に使用する資料については、開催日以降、ホームページに掲載します。

※自然災害や感染症などの緊急事態により説明会が急遽中止または開始時刻の遅延となる場合があります。最新の情報は区ホームページ内（ページID：24916）でご確認ください。なお、予定どおり実施する場合は掲載いたしません。

◆これまでの改築だより等は、区ホームページにてご覧いただけます

【閲覧方法】

世田谷区公式ホームページ>教育委員会>学校教育>学校改築状況>八幡小学校の改築状況

ホームページの検索スペースに「24916」と入力することで『八幡小学校の改築状況』のページを開くことができます。

右記の二次元コードを読み込むと、『八幡小学校の改築状況』のページが開きます。



◆お問い合わせ先

担当：世田谷区教育委員会事務局教育環境課 鍋坂・山田・片倉

所在地：〒154-8504 世田谷区世田谷4-21-27

電話：03-5432-2663

FAX：03-5432-3029

◆八幡小学校改築基本構想の概要

1. 基本方針

- ①歴史と未来をつなぐ人間性豊かな子どもを育成する学校
- ②学校・家庭・地域がつながり協働し、地域で子どもを育成する学校
- ③子どもと地域を守る安心安全な学校
- ④健康、体力の向上に寄与する学校
- ⑤自然とのふれあいを大切にする環境にやさしい学校

2. 計画の概要

・敷地概要	所在地	：世田谷区玉川田園調布2丁目17番15号
	敷地面積	：約7,800㎡
・建物概要(想定)	構造・階数	：鉄筋コンクリート造、地下1階・地上3階
	延床面積	：約6,890㎡

3. 計画の特色

(1) 配置計画

- ⑦配置計画は学校農園（八幡ファーム）と校庭を一体的な空間に整備するとともに、東側の鉄道沿線における騒音等に配慮した計画とする。
- ④小学校グラウンドは、現状と同等以上の広さを確保するとともに、サッカーなどの球技などが行いやすいよう配慮する。
- ⑦登下校門は児童の通いやすい位置に設け、児童の安全に配慮したスペースを設ける。車両動線（緊急車両）については校庭や保健室前にアクセスできる計画とする。

(2) 平面計画

◇児童ゾーン

- ⑤普通教室はまとめて配置し、良好な室内環境を確保する。
- ④将来の児童数増加に柔軟な対応が可能な平面計画とする。
- ⑦学年を越えた子どものかかわりやつながりがもてる施設とする。

◇管理ゾーン

- ⑥職員室や保健室等は、昇降口やグラウンドを見渡すことができる位置にまとめて配置する。

◇運動施設

- ⑦体育館は、避難所運営も考慮した配置計画とするとともに、断熱・遮熱性向上を図る工夫を行う。
- ⑦プールは、近年の猛暑を考慮して、暑熱対策などを検討する。また、近傍にある民間屋内温水プールの活用に向けた検討を行う。

◇地域利用

- ⑤図書室、家庭科室、音楽室、多目的室などは地域利用を考慮した配置を検討する。

(3) その他

- ④地下階も含め、校舎内の通風・採光を確保し、良好な室内環境を整備する。
- ⑦給食室の納品口から配膳まで、給食配膳動線を適切に確保する。
- ②誰もが使いやすい施設とするために、ユニバーサルデザイン・バリアフリー対策を徹底する。

4. 平面ゾーニング図（図中の記号：左ページの「3. 計画の特色」を反映した部分）

※ゾーニングや建物外形等は、今後の検討により変更となる可能性があります

